

長野市子どもの貧困対策計画 令和6年度の各施策の実施状況等について

1 計画の概要

(1)策定の趣旨

子どもたちが前向きな気持ちで夢や希望を持って成長できるよう、子どもの貧困解消に向けて施策を体系的に推進していくために策定

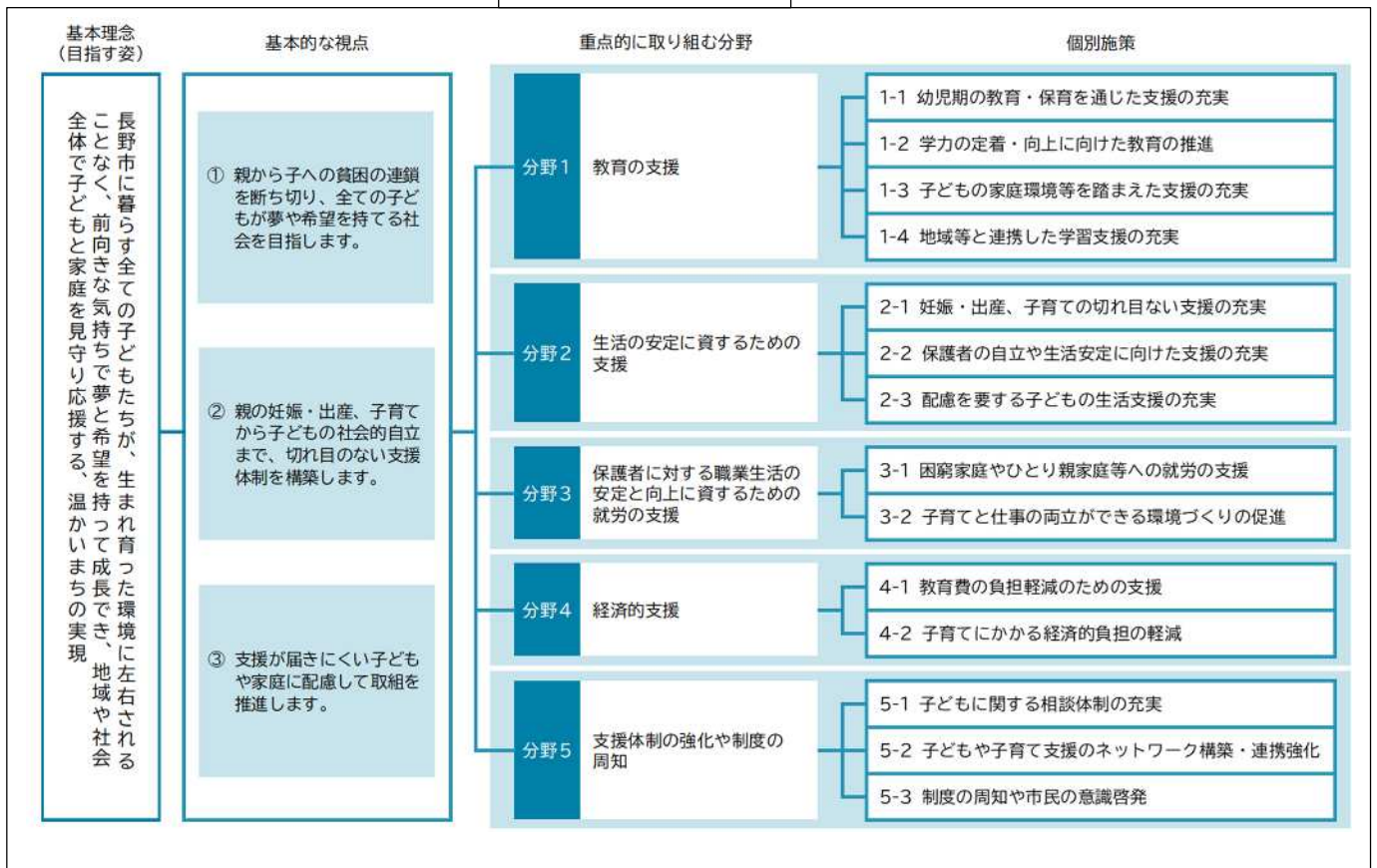
(2)計画期間

令和5年度から令和9年度までの5年間

2 計画の施策体系

- ・子どもの貧困の状況や課題を踏まえ基本理念（目指す姿）を整理し、国の大綱に沿って3つの視点を持って計画を推進
- ・支援が確実に届く仕組づくりを整えるため、重点的に取り組む5つの分野を定め、分野ごとに個別施策を掲げて取組を推進

施策体系図



3 計画の推進

本計画の推進に当たっては、事業の実施状況について点検・評価を行い、その結果を踏まえた上で取組の充実・見直しを検討する等、PDCA サイクルにより進捗を管理することとしています。

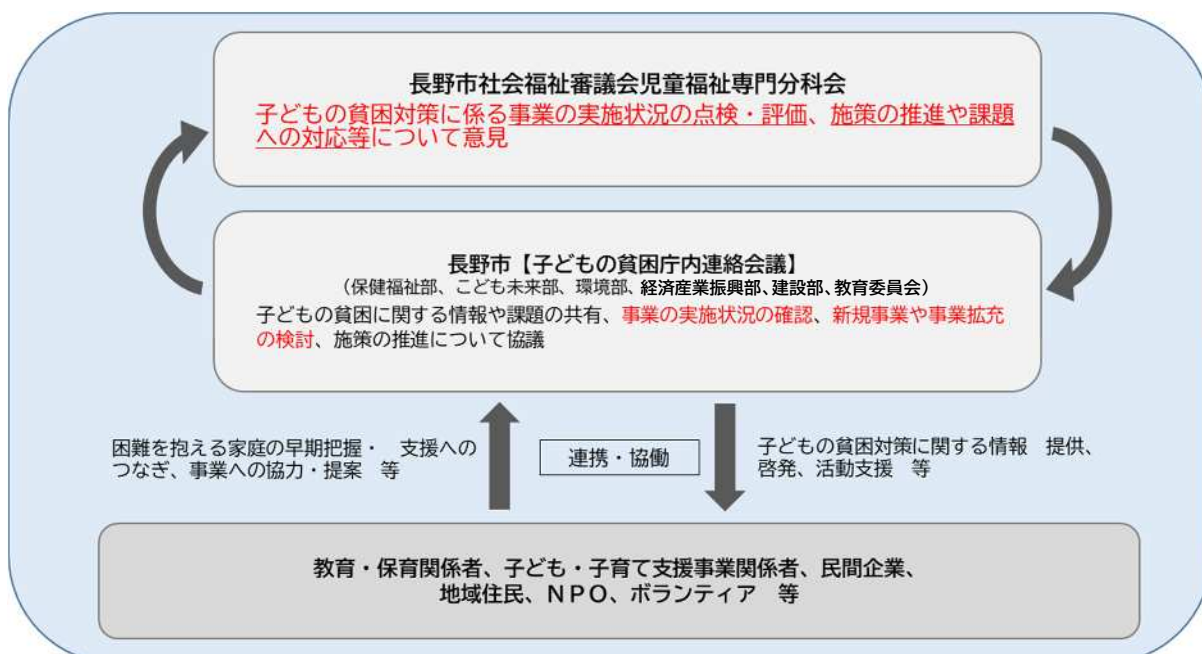
【計画本編 104 ページ 第5章 計画の推進】

2 計画の進捗管理

計画の適切な進捗管理を進めるために、「長野市子どもの貧困庁内連絡会議」で事業の実施状況の確認や、計画に基づく施策の推進について協議を行うとともに、「長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会」において、事業の実施状況について点検、評価し、これに基づいて施策や事業の改善・変更を実施します。

また、計画の期間中に起こりうる子どもの貧困に係る新たな社会的な課題に対しても、「長野市子どもの貧困庁内連絡会議」関係部局において新規事業や事業の拡充を検討し、「長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会」の意見を踏まえながら、課題解決に向けて取組を推進していきます。

【計画本編 105 ページ 計画推進のイメージ】



4 事業の実施状況の確認について

計画中「主な事業」として位置づけた 130 の個別事業について、令和 6 年度の取り組み状況を多面的に確認し、その結果を以下の内容で総合的に判定しました。

表示	判定内容
A	計画以上に進んでいる
B	計画どおり順調に進んでいる
C	計画どおりに進んでいない
D	計画より遅れている

なお確認に当たっては、「子どもの貧困対策に関する事業等の令和 6 年度実施状況確認表」(資料 4 別紙)により、『令和 6 年度事業実績』『実績に対する判定とその理由』『令和 7 年度の事業見直し等の有無及び内容』なども確認し、各事業の推進に向けた検討を行いました。

5 個別事業の進捗状況(分野ごとの判定集計)

	A	B	C	D	—	計
分野1	3	24	0	0	0	27
分野2	8	43	0	0	2	53
分野3	0	10	2	0	0	12
分野4	7	15	2	0	0	24
分野5	1	12	1	0	0	14
計	19 14.6%	104 80.0%	5 3.8%	0 -	2 1.6%	130

6 新たな課題に対応する「新規事業」等の追加について

以下の新規事業については、子どもの貧困に係る課題の解決に向けた取組となることから、新たに本計画に位置付けてまいります。

【計画に追加したい事業】

- ・幼稚園等預かり保育支援事業補助金 ……(保育・幼稚園課)
- ・不登校児童生徒アウトリーチ支援事業 ……(学校教育課)
- ・採点支援システム導入事業 ……(学校教育課)

各事業の掲載方法及び内容について、以下のとおり取りまとめました。

分野4 個別施策4 - 2に追加

131	幼稚園等預かり保育支援事業補助金【令和7年度新規事業】						保育・幼稚園課
内容	幼稚園を利用している保育を必要とする家庭を対象に、経済的負担の軽減を図るため、夏休みなどの長期休み中に利用する預かり保育料の一部を補助します。						
対象	妊産婦	乳幼児	小学生	中学生	高校生世代	青年	保護者
		○					○

分野2 個別施策2 - 3に追加

132	不登校児童生徒アウトリーチ支援事業【令和7年度新規事業】						学校教育課
内容	不登校により長期にわたり欠席して自宅にいたることが多い児童生徒に対し、家庭訪問等を行い、その子の状況に合った学びや必要な支援につなげていくオーダーメイド支援を行います。						
対象	妊産婦	乳幼児	小学生	中学生	高校生世代	青年	保護者
			○	○			

分野1 個別施策1 - 2に追加

133	採点支援システム導入事業【令和7年度新規事業】						学校教育課
内容	市立中学校に採点支援システムを導入することにより、テスト結果が分析され、教師の授業改善につながり、学力向上を図ります。						
対象	妊産婦	乳幼児	小学生	中学生	高校生世代	青年	保護者
				○			